



2025年度(令和7年度)

福山市立加茂中学校 学校経営構想図

「育成する力」及び「めざす生徒像」

【課題発見・解決力】

- 現状を分析したり、新たに直面した事象を把握したりするなどして、課題を見出すことができる。
- 既習の知識・経験や他者の考えなどを、比較したり、関連付けたりしながら、解決への道筋を立てることができる。

【コミュニケーション力】

- さまざまな表現方法で、自身の考えや思いを、自信を持って発信することができる。
- 他者の考えや思いに傾聴し、多様性を尊重することができる。
- 協働する中で、新しい価値観に気づいたり、互いに高め合う関係を築いたりすることができる。

【あきらめない心】

- 主体的に「やってみよう」という、高い意欲や好奇心を持っている。
- 仲間とともに、多様な方法を出し合い、試行錯誤しながら、何とかやり切ろうと課題に向き合っている。
- 最後まで、あきらめない、粘り強さがある。

【基本理念】

“人・もの・こと”をつないだ教育活動を進めていくことで、「感謝・感動・思いやり」の心をもった子どもを育てる。

<学校教育目標>

ともに 学び合い 高め合う

【基本理念】

“教師の輝きが子どもを輝かせる”を教育の基調とし、教師と子どもの人間的なふれあいと学校・家庭・地域の共同作業により、1人ひとりが子どもを育てる。

【ミッション】

加茂中学校で学んでよかった
加茂中学校へ通わせてよかった
加茂中学校で働けてよかった
と思える学校

【授業づくり】

<めざす授業の姿>

生徒達が、ともに学び合い、高め合うことで、「? (なぜ・どうして)」が、「! (わかった・できた・なるほど)」になる授業
教師も生徒も、「おもしろい」と感じられる授業

<研究テーマ>

疑問が生まれ、多様な学びを楽しめる授業づくり

<研究内容等>

- 基礎的・基本的な知識や技能の定着が図れる授業をつくるための教材研究と授業実践を繰り返す。
- 自分の授業を振り返り、見出した課題を解決するためのテーマを各自が設定し、他の教職員と対話・協働しながら探究する。

【コミュニティ・スクール】

学校の運営や課題解決、子どもたちの育成について、保護者や地域住民の方々にも参画いただき、学校と一緒に目標やビジョンを共有しながら進める。

【ふるさと学習】

山野・広瀬・加茂地域の自然、歴史、文化など多彩な地域素材を教材にしたり、地域人材の専門性を授業に活かしたりしながら、教科横断的に学ぶ子どもたちの探究心を育む。

【幼保小中連携】

子ども・教職員の交流を通して、幼児期から小学校、そして中学校までの学びをつなぐ。とりわけ、学力の基盤となる言葉と数の獲得に向けて、子どもたちが持っている興味・関心を活かしながら、対話的・体験的に学ぶ。

【教職員の基本姿勢】

- どんな些細なことでも、報告・連絡・相談を怠らない。報告・連絡で、情報共有。絶対に一人で抱え込まず、まずは相談。
- 職員室に笑いを。教職員の笑顔が子どもに及ぼす影響ははかり知れない。笑顔を絶やさず活気にあふれた職員室に!
- 教職員が一枚岩となって教育活動にあたるのが、子どもにとって大きな力となる。「チーム加茂」として、みんなで目標達成!
- 自分ごととして考える。絶対に他者のせいにしない。事にあたって、今の自分に何ができるのかを考え、持てる力を十分に発揮!